

特別史跡 平城宮跡
遺構展示館



近鉄「大和西大寺」下車、徒歩30分
JR奈良駅・近鉄奈良駅から西大寺行きバスにて
「平城宮跡」下車、徒歩1分

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、年末年始休館
開館時間：9:00~16:30(入館は16:00まで)
入館料：無料

文化庁文化財部記念物課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2
TEL 03-5253-4111(文部科学省代表)
<http://www.bunka.go.jp>

資料提供：独立行政法人 国立文化財機構 奈良文化財研究所



発掘調査時の様子(南棟付近東から西方向/長方形のものが塼)

塼積官衙 (せんづみかんが)

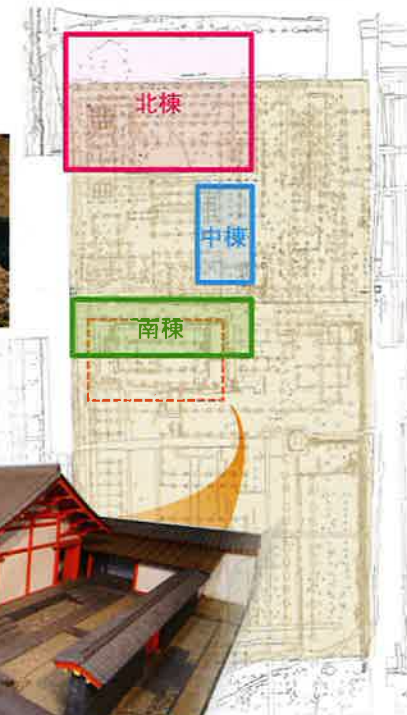
遺構展示館の建つ場所は平城宮の中核施設である大極殿や天皇の住まいである内裏のそばにあたります。ここでは建物などに塼(せん)と呼ばれる奈良時代のレンガが多数用いられていたため、この区画は建物の特徴から「塼積官衙」と呼んでいます。他の役所にはあまり用いられないことから特別な役所であったと推定されます。ここに太政官という国家の最高機関が存在したのではないかとという説もあります。

塼積官衙の遺構配置と遺構展示館の配置

出土した塼は、建物の基壇や通路などに用いられていました。



建物の基壇に用いられた塼



塼を用いた役所の復元建物模型

発掘された遺構や遺物から往時の平城宮の様子を伝えます。

遺構展示館の建つ場所の役所に関する展示

■ 塙積官衙

北棟 遺構露出展示(掘立柱建物)

奈良時代の建物の柱穴を展示しています。柱穴の重なりから奈良時代の間には建物が何回も建て替えられたことがわかります。



南棟 遺構露出展示(塙積基壇建物)

奈良時代の建物の基壇や通路の一部を展示しています。



屋外

塙積基壇建物の部分復原

遺構に盛土をした上に、塙積基壇と柱の一部を復原しています。



復原建物の模型
(中棟に展示)

中棟

出土遺物を通して、奈良時代の役所の機能や政務の様子を紹介しています。



平城宮の中核と遺構展示館周辺の役所に関する展示

■ 内裏と第二次大極殿

平城宮の中核施設である大極殿と天皇の住まいである内裏について展示しています。

内裏正殿復原模型



内裏の井戸



第二次大極殿屋根復原



直径1.7mもの杉の木がくりぬかれたものです。

第二次大極殿
基壇土層の剥ぎ取り



■ 様々な役所

平城宮には7000人に達するかという役人達が働き、中央集権の社会を支えていました。役人達が勤務した様々な役所に関して出土遺物などを展示しています。これら遺物などから役所が平城宮跡のどの場所に存在したのか現在も調査研究が進められています。

書類として
使われた木簡



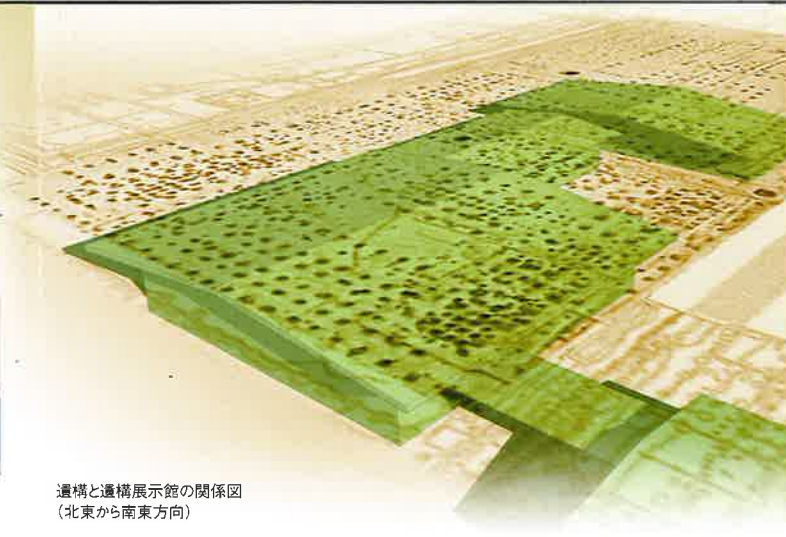
塙積官衙から出土した井戸枠



役人の仕事道具である硯



役所の名前の書かれた土器



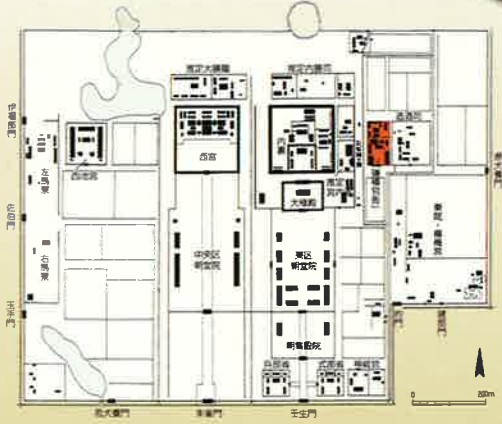
遺構と遺構展示館の関係図
(北東から南東方向)

遺構展示館

特別史跡 平城宮跡 遺構展示館では発掘調査によって見つかった奈良時代の役所の建物跡である遺構を発見当時の状態で保存・展示しています。また、出土した井戸や木樋などの貴重な遺物や、調査研究によって復原した建物模型なども展示しています。



平城宮における役所の位置



役所(塙積官衙)の
復原イメージ図
(南西から北東方向)